

ポリマー
セメント系

ポリマーセメント系仮防水材

水性

防水効果

EX-仮防水

平滑性

(仮防水兼下地調整材)

EX-仮防水は、改修工事の既存防水層撤去時に、その改修工事期間中の漏水事故のリスクを減らす
目的で開発したポリマーセメント系仮防水材です。

安全性・平滑性・施工性・付着性にも優れ、各種屋上改修工事に最適です。



■ 特長

- ① 優れた施工性 ポリマーセメント系なのでローラー・刷毛・コテ等の施工性に優れています。
- ② 優れた付着性 各種下地への付着性に優れています。
- ③ 優れた仮防水性 透水性試験による漏水がありません。
- ④ 優れた平滑性 ポリマーセメント系なので下地のある程度の凹凸に対応し平滑性に優れています。
- ⑤ 優れた安全性 水性の材料構成で引火や中毒の心配がありません。

■ 製品

EX-仮防水 混和液



主成分 : 変性EVAエマルジョン
外観 : 白色乳濁液
不揮発分 : 54 ± 1%
粘度 : 1000 ± 400mPa・s
荷姿 : 18kg缶

EX-仮防水 粉体



主成分 : 特殊セメント・珪砂
外観 : 灰白色無機質粉体
荷姿 : 12kg袋



■ 適用下地と新規防水について

EX-仮防水

改修工事で
既存防水層を撤去

この期間の雨漏れの防止対策として施工

次の防水層を施工

コンクリート・モルタル下地
アスファルト防水撤去箇所
ゴムシート防水撤去箇所
塩ビシート防水撤去箇所
ウレタン塗膜防水撤去箇所
アクリルゴム系塗膜防水撤去箇所

アスファルト系防水
(熱工法・トーチ工法・常温工法)
塩ビシート防水
ゴムシート防水
ウレタン塗膜防水
その他防水材

■ 施工

下地処理

適用下地は**既存防水撤去後のコンクリートやモルタル**とします。

ケレン棒・ワイヤーブラシ・サンダー・ポリッシャー等を用いて、**表面の残存接着剤・油脂類等の付着物を除去**してください。

ひび割れ箇所や漏水箇所は**適切な防水処理**を行ってください。

下地が脆弱な場合はエポアンダー等の下地調整材にて平滑処理を行ってください。

仮防水

EX-仮防水の施工

工程	使用材料			塗布量 (kg/m ²)	施工工具	乾燥時間 23°C/60%RH
	EX-仮防水 混和液	EX-仮防水 粉体	水			
仮防水	9	12	0~2	0.8~1.6	ローラー 刷毛 コテ	3時間

※吸水性が高い下地の場合は、ETプライマー又はEX-仮防水 混和液の5倍希釈液を刷毛等でむらなく塗布してください。
(付着性を向上させる以外にもピンホールやドライアウトを防ぐ効果があります)

プライマー

ETプライマー	小 3kgケース(ポリ容器) 大 16kg缶	カチオン系アクリル樹脂	★配合比 ETプライマー : 水(1 : 1)	★塗布量(水混合) 0.1~0.2kg/m ²
EX-仮防水 混和液	18kg缶	変性EVAエマルジョン	★配合比 EX-仮防水混和液 : 水(1 : 4)	★塗布量(水混合) 0.1~0.2kg/m ²

- EX-仮防水の混和液・粉体・水の配合比で、モルタルミキサー・ハンドミキサー等でダマが残らないように十分に混合してください。
- 塗布作業は、ローラー・刷毛・コテ等を用いて規定量塗付けてください。

注意) EX-仮防水は、本防水材ではありませんので、早期の本防水施工をおすすめいたします。下地の動き等により仮防水層にひび割れの発生や激しい雨や長雨の影響により仮防水の機能が維持できなくなる場合があります。

新設防水工法

新設防水工法を施工(アスファルト系防水・塩ビシート防水・ゴムシート防水・ウレタン塗膜防水等)

■ 注意事項

- 気温5°C以下になる場合は施工を中止してください。 ● 指定の材料以外の混入は避けてください。
- 仮防水材が乾燥するまでの間に、降雨・降雪にあわないように注意し施工を調整してください。
- 開封した材料は、速やかにお使いください。 ● 本カタログの内容は、断りなく変更することがありますのでご了承ください。
- 製品のご使用に際しては適切な使用方法と安全対策に注意しお取り扱い願います。



ユニオン建材工業株式会社

■ 本社 大阪市北区大淀南1-5-1
■ 東京 品川区大井1-45-2

TEL 06-6453-3563 FAX 06-6453-3830
TEL 03-6429-8346 FAX 03-6429-8347